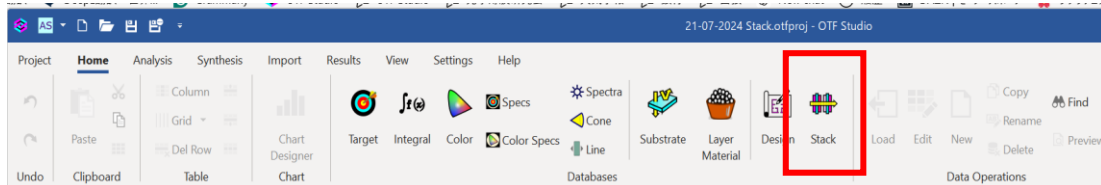


OTF Studio ver.24.35 の更新内容

【更新内容】

1. スタック機能(Analysis, Synthesis)を組み込みました。



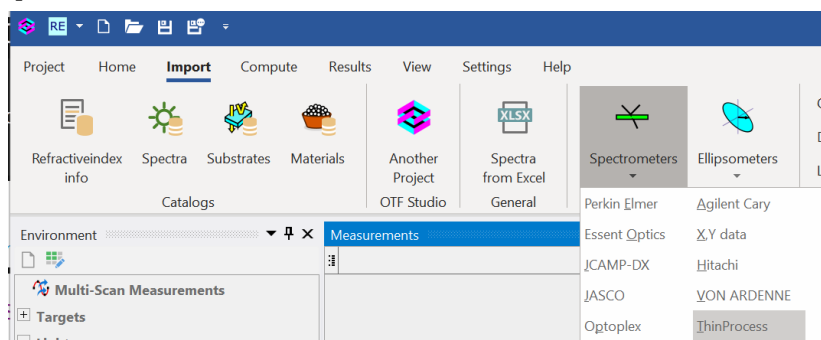
スタックは基板とコーティングの組み合わせになり、各基板面にはコーティングがある場合とない場合があります。基板は Parallel(平行平面)と Wedged(くさび状)を選択できます。

- Stack の分光特性計算
- 色の計算
- 積分値(Integral values)の計算
- モンテカルロ(Monte-Carlo: バラツキ)シミュレーション
- Copy numbers (計算値のクリップボードへのコピー) と Stack レポート
- Stack の最適化計算

(ケイワン注: Stack を最適計算に使う場合は Deep Search モードに使う方が局地解に陥りにくいようです。また複数基板の場合、最適化計算は局地解になりやすいので、1枚の基板で最適化後に Stack で組み合わせて総合特性を確認する方が良い結果が得られます。)

2. 成膜工程で取り込まれた複数の測定値をインポートできます(例えばマルチスキャンBBMデータ)。

3. Import ファイルに ThinProcess(Zeiss)形式を追加しました(CH, RE モード)。



4. COM インターフェースの強化

- Multi-scan リバースエンジニアリングの Python サンプルプログラムを追加。
- Color ターゲットおよび Integral target の Clear 操作を追加しました。
- COM で呼び出される計算関数で Design Builder パネルの設定を更新できます。

5. カタログの更新

- ・ Schott ガラスのデータを追加しました。
- ・ インターフェースを改善し、数値の列を削除して列ヘッダーの小さなボタンでソートやフィルタリングをできるようにしました。

6. 「New Project」オプションの初期画面を変更し、頻繁に使用されるいくつかのパネルが予め開くようにしました。

7. バグ修正：

- ・ 設計のないデザインから Gradual Evolution（漸進的進化）を開始した場合、設定で選択していない材料が含まれることがあったのを修正しました。
- ・ Specifications が Load された場合、「Wrong range(範囲間違い)」警告が表示されたのを修正しました。
- ・ Excel からのインポートで、インポートボタンをクリックしても開いている測定テーブルに追加されなかったのを修正しました。

以上